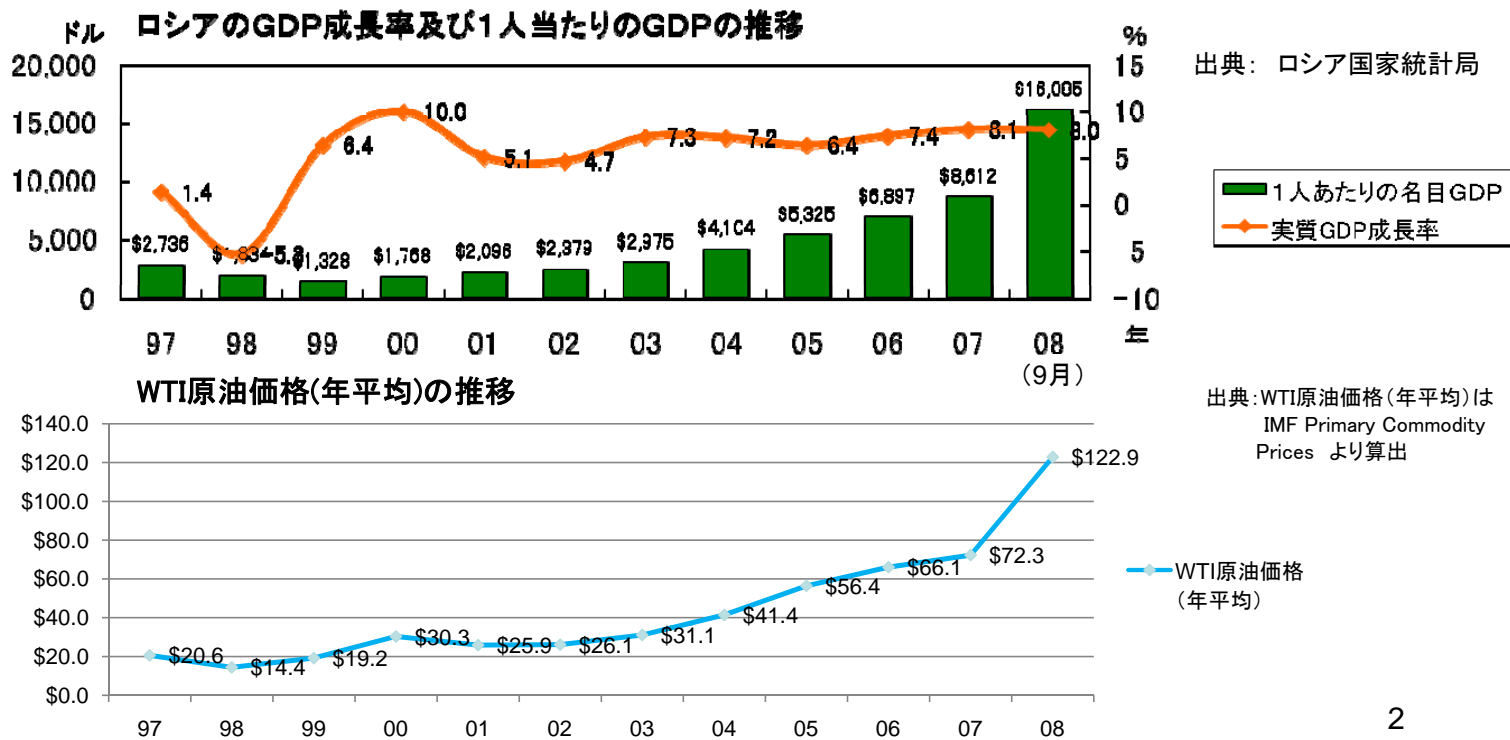


日露経済関係の現状と展望、及び 貿易投資の拡大に向けた政策展開

平成20年11月17日
経済産業省通商政策局
欧州課ロシア室長
小嶋典明

近年のロシア経済

○近年のロシア経済は資源価格高騰に支えられ、内需が拡大し順調に成長。

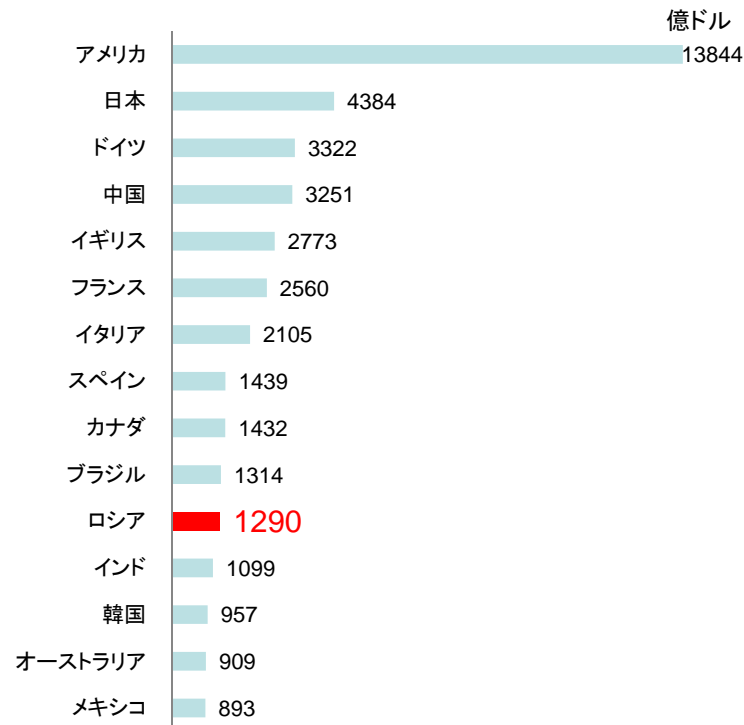


国際通貨基金 (IMF) の GDP ランク

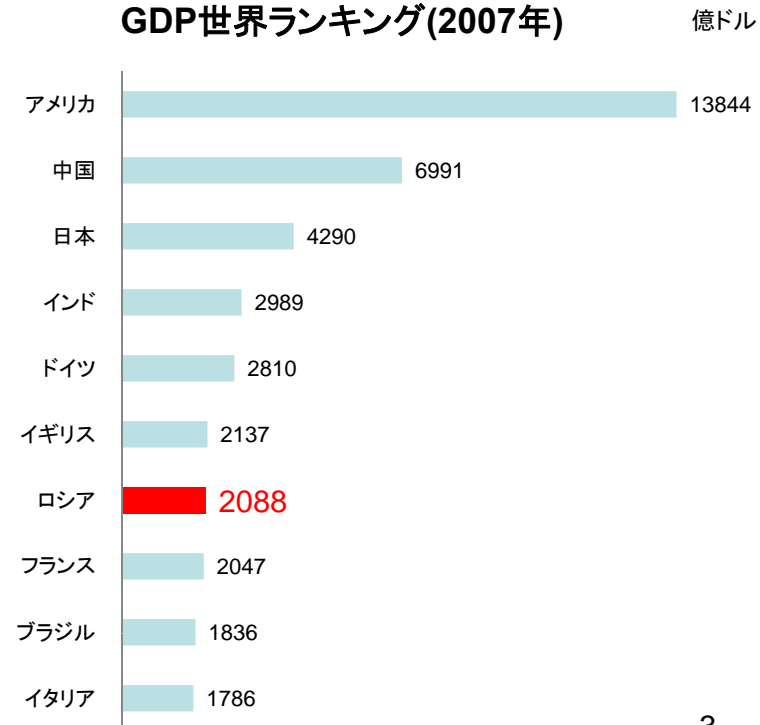
○2007年、ロシアはGDP世界第11位。

○物価水準を考慮した購買力平価ベースのGDPでは世界第7位。

GDP世界ランキング(2007年)



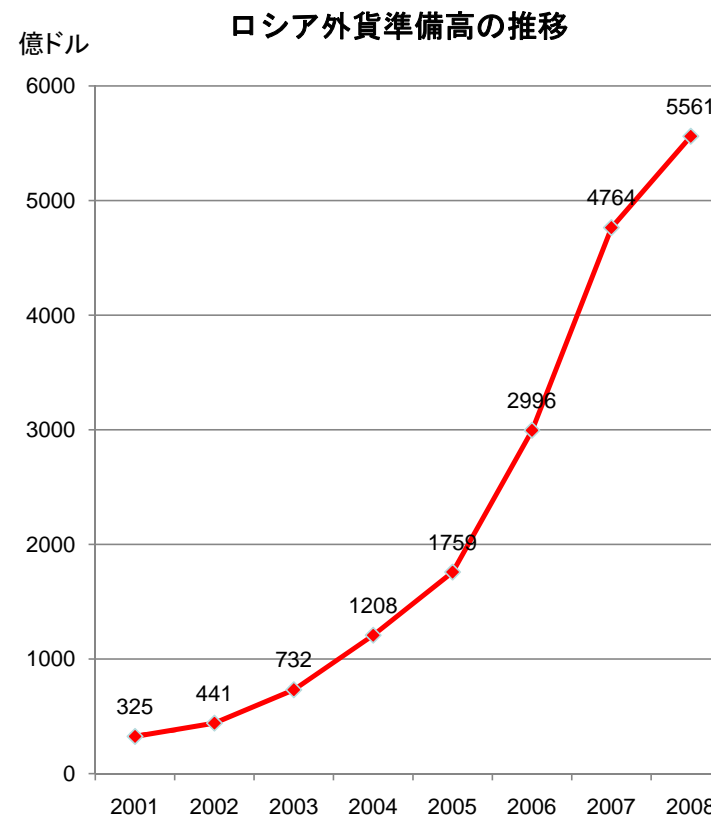
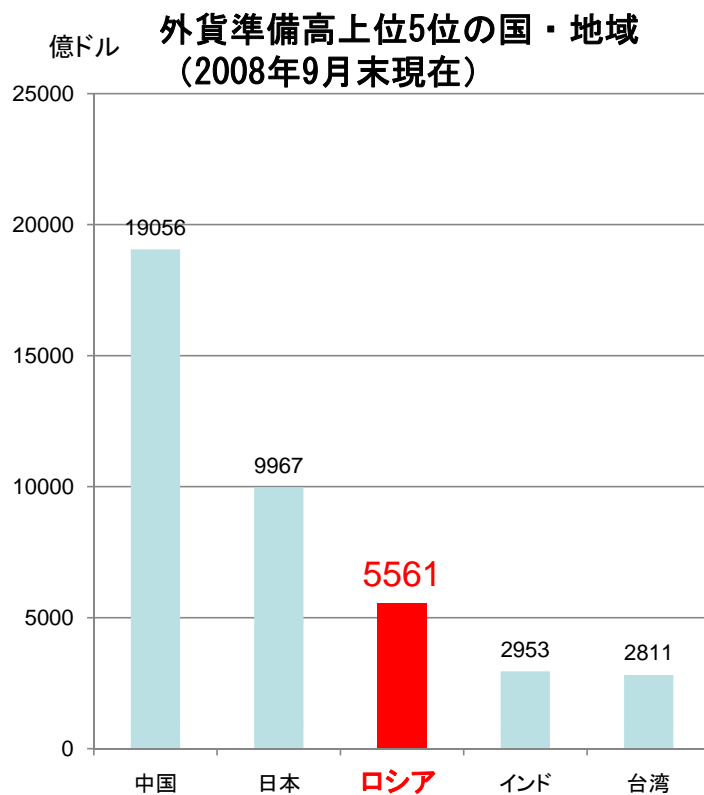
購買力平価ベース
GDP世界ランキング(2007年)



出典： IMF “World Economic Outlook Database, April 2008”

ロシアの外貨準備高の増加

○ロシアは、中国、日本に次ぐ世界3位の外貨準備高を保有。



出典: IMF 's data on current foreign exchange reserves of reporting countries

RTS(ロシア取引システム)指数の開設以来の推移

○1998年以降順調に伸びていたが、直近に急落。



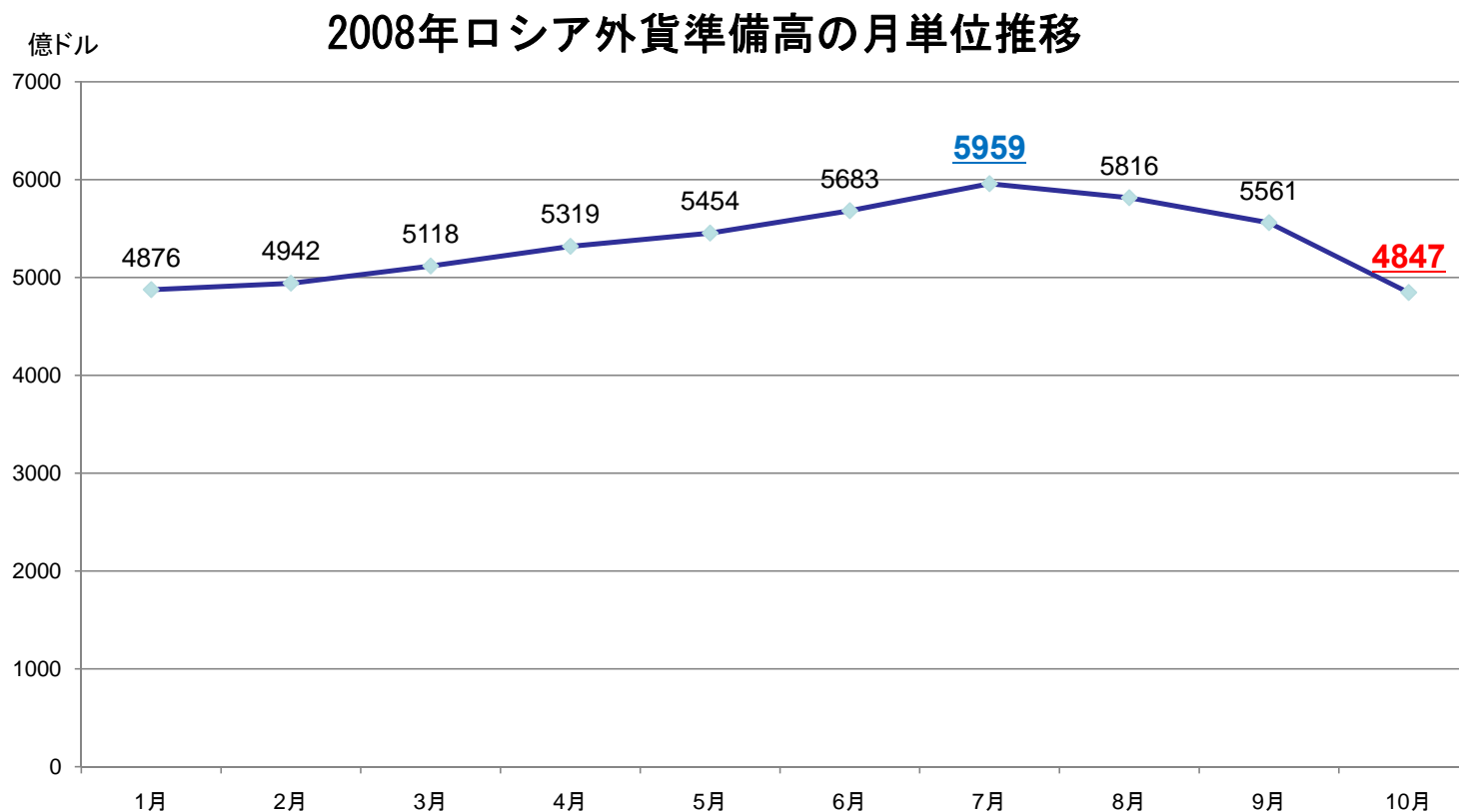
ロシア株価（RTS指数）と原油価格（WTI原油価格）

○ RTS指数の構成銘柄にガスプロム、ロスネフチ等資源関連企業の占める割合が高いため、WTI原油価格と相関関係が見られる。



ロシアの外貨準備高

○2008年7月をピークに外貨準備高は減少。10月に5000億ドルを割り込む。

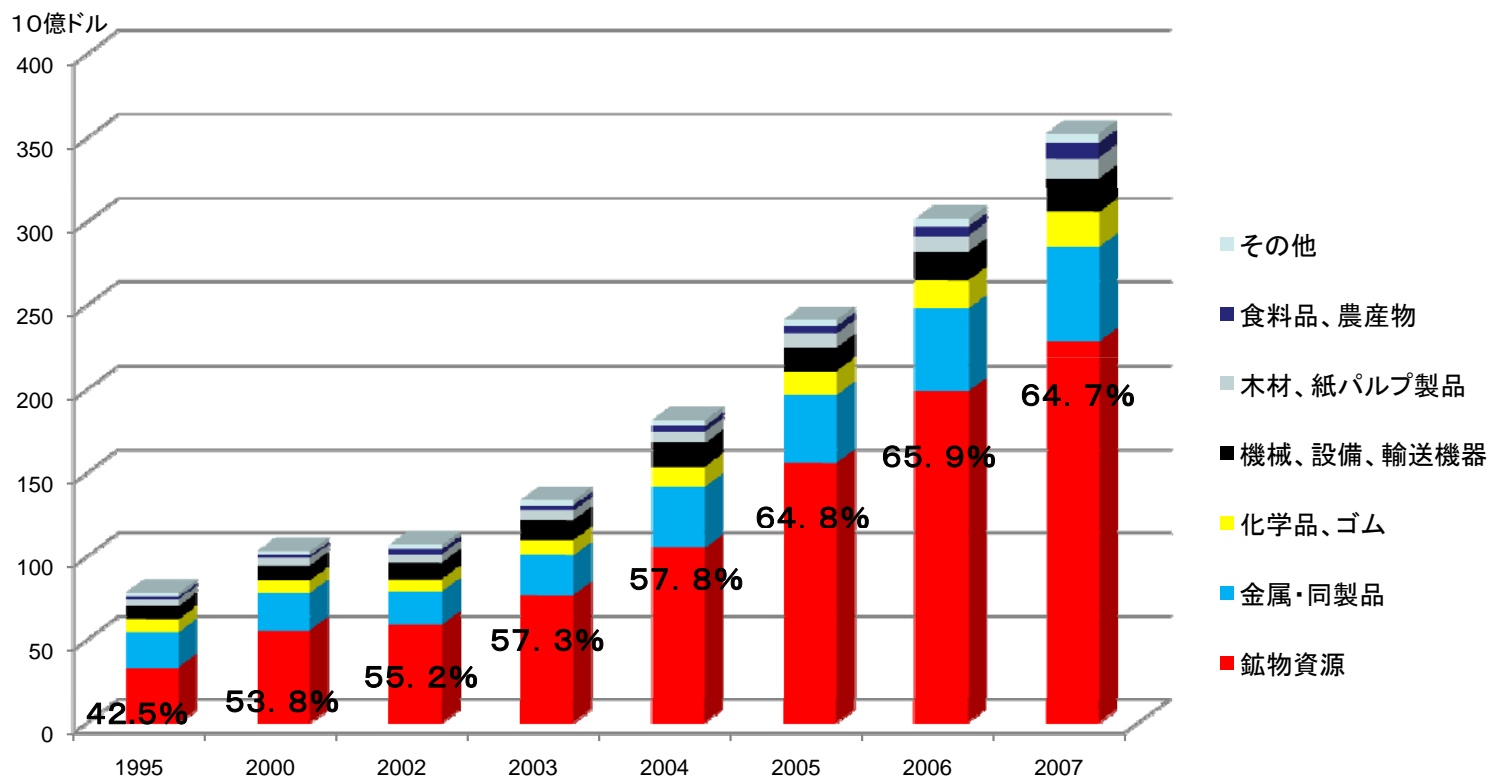


出典: IMF 's data on current foreign exchange reserves of reporting countries

中長期的な懸念事項(1) 資源依存の経済

○ 鉱物資源が輸出の65%を占める資源に依存した経済。

ロシア品目別輸出額推移 (%は鉱物資源が全体に占める割合)

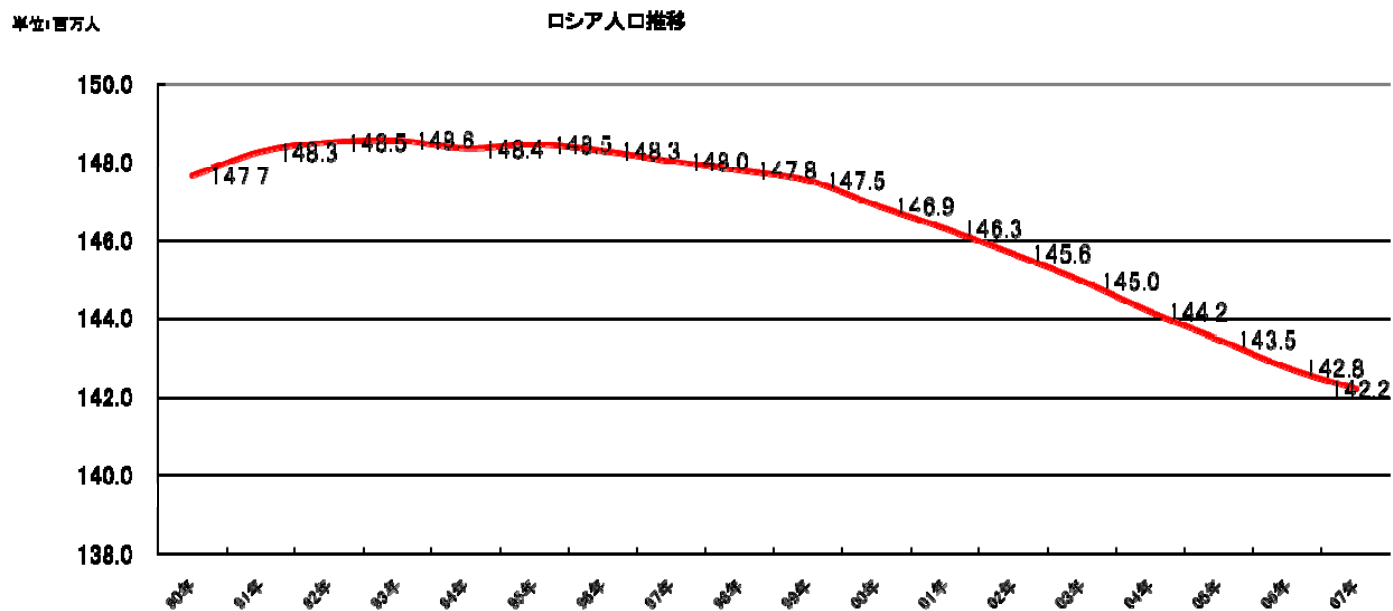


8

出典: ロシア連邦国家統計局 “COMMODITY STRUCTURE OF EXPORT OF THE RUSSIAN FEDERATION”

中長期的な懸念事項(2) 人口減少

○人口減少の克服が重要課題の一つ。経済成長の最大のリスクにもなりえる。

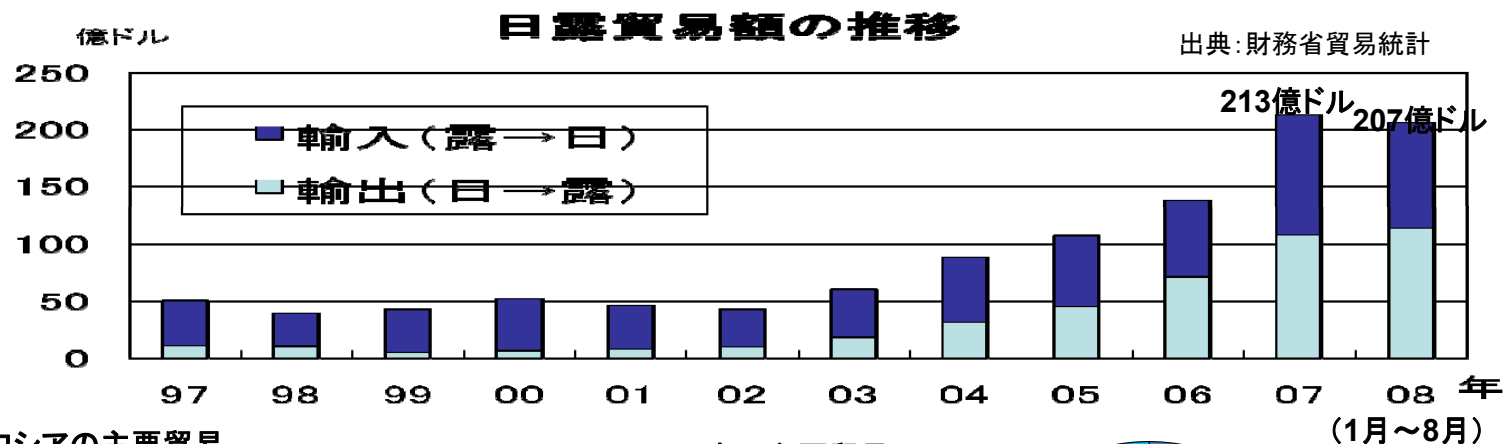


9

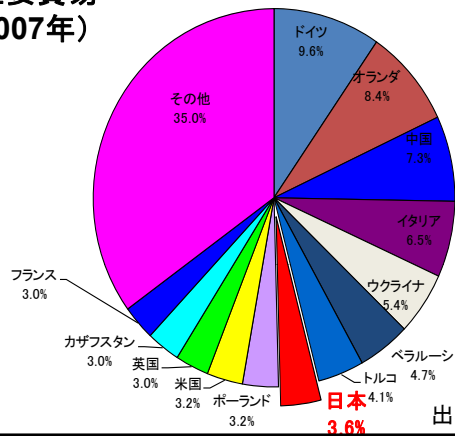
出典:ロシア連邦国家統計委員会

拡大する日露経済関係

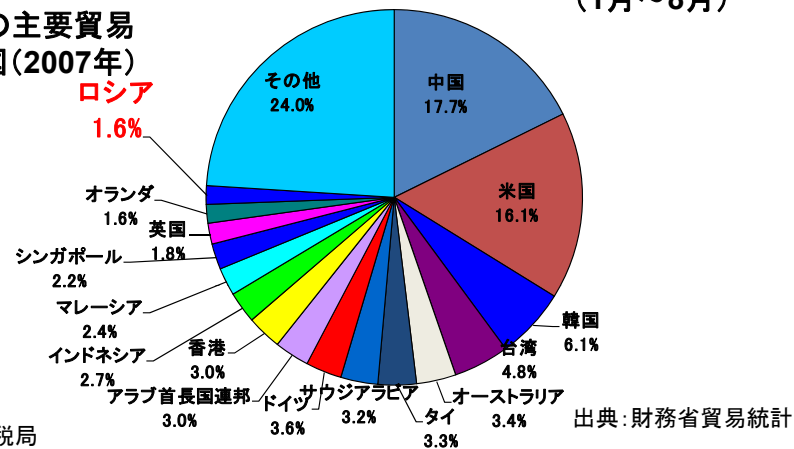
○07年、日露貿易額は過去最高となる、213億ドル(前年度比55%増)を記録。
 08年は1月-8月で既に200億ドルを超え、07年を上回るのは確実の情勢。
 ○日本はロシアの第8位、ロシアは日本の第16位の貿易相手国。



ロシアの主要貿易相手国(2007年)



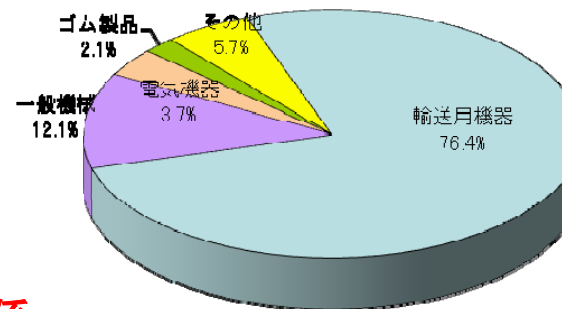
日本の主要貿易相手国(2007年)



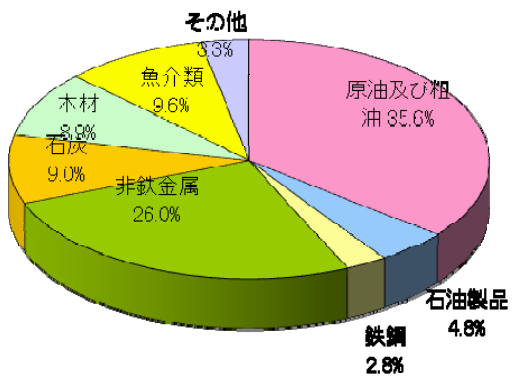
相互補完的な日露経済関係



対ロシア輸出内訳(07年)
107.4億ドル(前年比52%増)

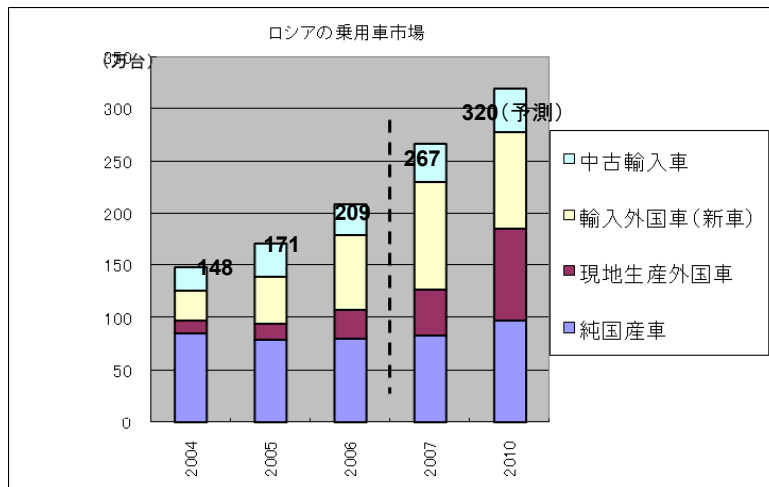


対ロシア輸入内訳(07年) **相互補完的貿易関係**
105.4億ドル(前年比58.5%増)

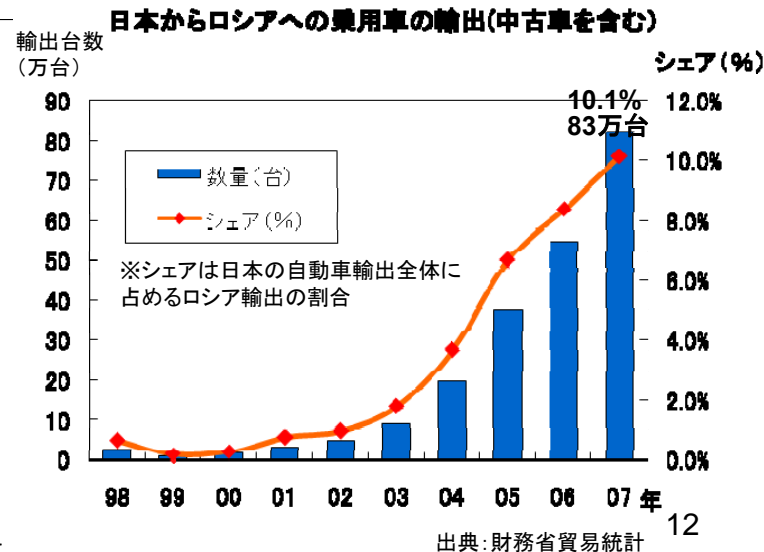


日本の自動車企業のロシア進出

- ロシアの乗用車市場は年々拡大。
- ロシアは日本車の重要な市場。
- 近年、日本の自動車企業のロシア進出が相次いでいる。
 - ・トヨタ、日産、スズキ：相次いでサンクトペテルブルクに車両組立工場を建設
 - ・いすゞ：エラブガ(タルススタン共和国)に、トラック生産・販売の合併会社を設立
 - ・三菱自動車：カルーガ州にPSAプジョー・シトロエン社と合併車両組立工場を建設



出典：ロシア連邦商工会議所資料



出典：財務省貿易統計

潜在的拡大の余地のある日露経済関係

○日露投資は拡大傾向にあるものの、主要国との比較では規模が小さく、潜在的拡大余地は大きい。

貿易額の比較
(07年 単位：100万ドル)

	総額
日⇔露	1 (21,280)
日⇔中	11.1 (236,640)
日⇔米	10.1 (214,232)
日⇔印	0.5 (10,305)
日⇔伯	0.5 (9,970)

(注)日米、日中、日印及び日伯の上段の数字は日露を1としたときの数値。下段は貿易額

出典：財務省貿易統計

投資額の比較
(07年 単位：1億円)

	総額
日→露	1 (117)
日→米	158.1 (18,524)
日→中	62.3 (7,305)
日→印	15.2 (1,782)
日→伯	12.4 (1,458)

(注)日米、日中、日印及び日伯の上段の数字は日露を1としたときの数値。下段は貿易額

出典：日本銀行「業種別・地域直接統計」

ロシアに進出した日本企業が感じている問題点

○ 煩雑で不透明な行政手続きと汚職の問題

- ・税関手続き・許認可手続きが煩雑、解釈が担当で異なる、時間¹⁴がかかる等の問題

○ 物流インフラ(港湾、鉄道等)の整備の遅れ

- ・港湾のガントリークレーンの不足による海上での貨物の滞留
- ・鉄道の振動による貨物へのダメージ

○ サンクトペテルブルク等における熟練労働者の不足と人件費高騰等によるコスト高

- ・近年、賃金が年に10%以上上昇(自動車工場労働者の賃金は月に10万円程度)

○ 不明確・不十分なロシア政府の産業政策

- ・例えば、自動車部品産業の育成方策が示されていない

ロシアのビジネス環境改善についての我が国の取り組み

○日露投資フォーラムの開催

(第1回06年9月ロシア・サンクトペテルブルグ、第2回07年2月東京・経団連会館、第3回08年9月ロシア・サンクトペテルブルグ) :

日本国経済産業省とロシア経済発展貿易省が主催して、日本企業のロシア市場進出及び投資の拡大を目的とした官民合同フォーラムを開催(第1回:700名、第2回:500名、第3回:500名が参加)。

○日露運輸協力に関する政府間作業グループの開催:

日本政府(経済産業省、外務省、国土交通省)とロシア政府(運輸省、経済発展貿易省、連邦税関庁)の間でシベリア鉄道の近代化等に関する日露協力について協議。(2007年7月開始、これまで3回開催)

○日露貿易投資促進機構による活動:

主に(社)ロシアNIS貿易会(ROTOBO)及び独立行政法人日本貿易振興機構(JETRO)が、日露間の貿易経済関係を促進するため、日露双方の企業に対するビジネス環境の情報提供、ビジネスマッチング等の事業を実施。(2004年6月活動開始)

ユーラシア産業投資ブリッジ構想(案)

日露間で利益が一致するシベリア鉄道近代化に係る協力を中心に、沿線地域における資源エネルギー協力、産業育成協力を推進する。

